

平成30年度第3回 社会教育委員会議
議 事 要 旨

1. 開催日時：平成30年12月19日（水） 14:00-15:00

開催場所：八尾市立青少年センター3階 集会室2

出席委員：木下委員・二宮委員・藤田委員・田中委員・村尾委員・山下委員・
中西委員・松井委員

2. 議事案件

1 平成30年度第2回社会教育委員会議録の承認

2 報告事項

(1) 生涯学習スポーツ課関連事業の結果について 資料1

(2) 暮らし学習館フェスティバルについて 資料2

(3) 第9回八尾市小学生なわとび名人検定及び

第7回八尾市小学生チャレンジなわとび学年別認定会について 資料3

(4) フェスタかがやき2019について 資料4

(5) 八尾市立図書館の行事等について 資料5

(6) 文化財関連事業の結果について 資料6

(7) 第25回八尾市こども会親善つな引き大会結果について 資料7

(8) 家庭教育を考える市民集会開催結果について

(9) 第66回八尾市成人式の開催について 資料8

※当日、東京2020オリンピック・パラリンピック フラッグツアーの実施に
ついて、追加報告あり。

3 その他

(1) 社会教育施設における指定管理者の指定について 資料9

3. 意見交換の概要（○：委員、●：事務局）

1 平成30年度第2回社会教育委員会議録の承認

※全委員異議なし

2 報告事項について

○) 今東光について、今後、各図書館等を利用したPRは？

●) 資料館においては、秋・冬に特別の企画展を実施。また、龍華図書館では、今東光の特集コーナーも設けている。情報の発信や今後のあり方も含めて、できるだけ多くの方に利用いただけるよう検討していきたい。

○) 由義寺のシンポジウム、盛会であったと聞いている。由義寺取り組み、今後の予定は。

●) 12月市議会において、用地買収予算の提案をしている。議決を受けた後、区

画整理との関わりを踏まえて、整備等検討していきたい。本格的な整備は、今後、八尾市史跡保存活用審議会において検討させていただき、整備構想等について進捗があれば、また会議でお示ししたいと考えている。

●) 10/28 の由義寺シンポジウムにおいて、八尾翠翔高校の生徒に発掘調査に携わっていただいたのだが、携わってくれた生徒本人たちも、この機会がきっかけとなり、将来的にも文化財に関わる進路に進みたいという希望を持つようになったという、嬉しい話も聞いている。

○) 一日も早く整備できるようお願いしたい。また、この度の取り組みについて、翠翔高校の生徒たちが喜んでくれていることは、地域でも聞いている。八尾には様々な史跡がある。八尾市内の高校生、子どもたちに対するこうした取り組みも、これに限らず、引き続き機会があれば取り組んでほしい。

3 その他

※社会教育施設の指定管理者の選定状況、生涯学習センターの指定期間の延長について説明。

●) 生涯学習センターの指定期間の変更について議案を上程しているところであるが、生涯学習センターのあり方、特に地区コミセンとの連携について、前回に引き続き、意見があればいただきたい。

○) 生涯学習センターは、子どもたちだけでなく、教職員の研修などで活用させていただいている。素晴らしい施設であると思う。

○) 曙川コミセンでは、夏休みを利用して子どもの学習の場として、施設開放を実施する話を聞いている。生涯学習センターにおいても様々な講座はあると思うが、地域の子どもや大人も含めて、広く施設を開放していくことが大切と思う。

○) 生涯学習センターと地区コミセンとの役割の重複、地区コミセンの講座がやっていない曜日の講座の実施等により、差別化を図ったり、ユニークさを出していくことも大切と思う。

差別化の例として、例えば、学んだ能力や技術を更に高めていきたい人に向けて高度な講座を充実するなどの取り組みも必要ではないか。

○) 山本コミセンは、地域住民参加の取り組みが多く、市民が積極的に学習活動をしている。地域住民は、コミセンをよく利用していると思う。

○) 大正コミセンは、子ども向けの講座を含め、地域密着の施設として機能している。それぞれのコミセンも、地域によって特色を出していると思う。大正地区からは、子どもたちを生涯学習センターまで連れて行くことは、やはり交通の便の問題があり難しいが、生涯学習センターで何をやっているのかも分からず、連れて行けていないのが現状である。

○) 指定管理者が、出張所へのアウトリーチ活動として、健康講座、体力測定、体操教室などを実施しているが、地域によっては、コミセンでやりたい講座があっても、どうやって先生を探したらいいか分からないという声も聴こえる。

こういうとき、生涯学習センターがリーダーシップを発揮して、地域の学習ニー

ズと先生とのマッチングを行うなどの役割を果たすことが、生涯学習センターの機能として必要と感じる。

○) 志紀・竹湊地区など生涯学習センターから遠い地区から来館してもらうための工夫は、やはり課題と感じる。まずは、来てもらえる施設に向けて、市民ニーズをどう捉えるかが、課題と思う。

○) 生涯学習センターは、コミセンがない地域の住民が生涯学習を行う場を、提供する機能も担う必要があるのではないか。

○) 生涯学習センターでは、大学で実施されている、大学教授等に来てもらって、大学の研究等を市民に分かりやすく説明する市民大学講座のような取り組みも必要と思う。様々な取り組みを通じ、地域人材、リーダーの養成を図ることが大切ではないかと思う。